回覧　ボランティア情報紙
令和4年12月　第323号

福寿草

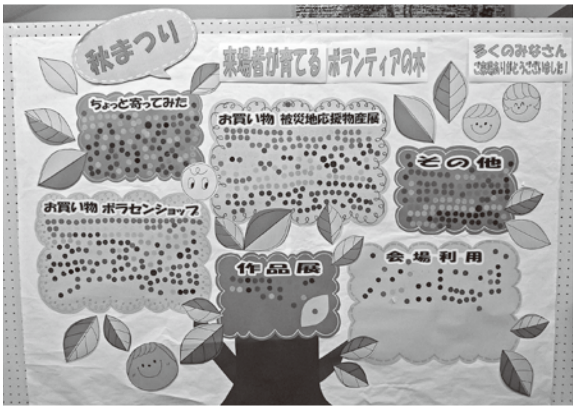
発行:社会福祉法人辰野町社会福祉協議会・辰野町ボランティアセンター・情報紙編集委員会 TEL.41-5558

ボラセン秋まつり週間

作品展と被災地応援物産展を行いました

　コロナ禍で規模を縮小して、今年は２週間開催しました。今年は来場者参加企画として、“来場者が育てるボランティアの木”を入口に貼り、「今日は何しにボラセンへ？」という質問に当てはまる箇所にシールを貼っていただきました。秋まつり週間に来て下さった方以外の方も大勢いて、ボラセンが憩いの場になっていると感じました。

みなさんをお出迎えしたにゃんボランとリボラ。



今日は何しにボラセンへ？の集計結果

１位	被災地応援物産展	205 人
２位	ボラセンショップ	170 人
３位	ちょっと寄ってみた	108 人
３位	その他	108 人
４位	会場利用	56 人
５位	作品展	21 人

期間中 9 日間
合計 668 人

被災地応援物産展

毎年楽しみにして下さる方が増えた被災地応援物産展。人気の宮城県石巻市の茎わかめ、岩手県の三色せんべい、熊本県のくまもんラーメンと黒糖ドーナツ棒を販売し、完売しました。売上利益と期間中集まった募金を合わせ、**61,307 円**を辰野町共同募金委員会を通じて災害義援金に寄付します。ご協力ありがとうございました。

作品展

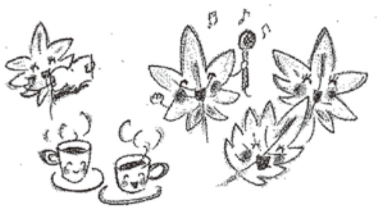
ボラセン登録団体による写真・絵てがみ・手芸品等の展示、地域活動支援センターつむぎのみなさんの作品と活動紹介を展示しました。

視覚障がい者と朗読の会の交流「もみじの会」が行われました

視覚障がい者と朗読の会の交流「もみじの会」が朗読ボランティア団体「朗読グループひびき」と視覚障がい者の方、個人参加の方で３年ぶりに行われました。

マイブームを交えての自己紹介の後、朗読ボランティアの会員による朗読、紙芝居、民話語りや三浦久さんの歌を聞き、最後は視覚障がい者の粟津原さんのハーモニカ演奏で♪もみじ♪など数曲をみんなで歌い楽しい時間を過ごしました。

「もみじの会」のもみじは、手を広げた形。互いに手と手をつなぐことで優しさが伝わります。障がい者も健常者も共に手と手、心と心をつないで暮らしていきましょう。との願いが込められています。



今年発足しました！「はなももの会」

コロナ禍で、集まることや活動することが難しくなったことで解散してしまう会が増えていますが、「はなももの会」は今年３月に発足しました。

メンバーは元食生活改善推進協議会の平出班の方１８名です。せっかく出来た絆を繋げていきたい。これからも皆で活動し、おしゃべりすることで楽しく元気に健康に過ごしていきたい。との思いで発足しました。２カ月に１回のペースで３班編成の当番制でその月の内容を決め運営しています。初回には新聞紙で袋を作りボランティアセンターに寄付いただきました。

10月の会では、ストレッチ、脳トレクイズ、新聞紙で災害時に役立つスリッパの作り方を体験。その後おしゃべりに花を咲かせました。

今はコロナ禍で調理実習やお茶会が出来ない状況ですが、早く出来るようになることを願って活動しています。

町内の保育園に地域の方からのプレゼントを届けました

「コロナ禍で子供たちの楽しみが減っていないかなあ？何か子供たちにわくわく楽しんでもらえることが出来ないかなあ？」とボランティアセンター内のボラセンショップに野菜を出している地域の方のつぶやきから、「ポップコーンのモロコシを作って子供たちに届けたらどうかな・・・」ということになりポップコーンのモロコシを育てていただきました。収穫したモロコシを数週間干し、ちゃんとポップコーンが出来るか試してみると、ポンポンと音を立ててフライパンの中で弾けてポップコーンが出来ました。

昨年はバターナッツというかぼちゃにハロウィンのイラストを描いて届け、子供たちの笑顔会えました。今年も寄付いただいたバターナッツにイラストを描いてもらい、ポップコーンといっしょに届けました。今年もまた子供たちの笑顔に会えました。
12月6日のおやつの時間に全園で食べるそうです。

長野県高等学校総合文化祭ボランティア研究大会に参加しました！

辰野高等学校 JRC クラブ

１０月２日（日）松本市勤労者福祉センターで、標記の大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響でここ数年は中止が続いていましたが、今回は３年ぶりにしかも参集型で開催することができ、今のメンバーでは初めて「外の場所で」ボランティアについて学ぶ機会となりました。

「大会」という言葉からは「競う」ように感じますが、講演会や他校の活動発表を聞いて、自分たちのボランティアの仕方について考える、とても勉強になる会でした。

講演会では、松本盲学校教諭の小林稔先生のお話を伺いました。

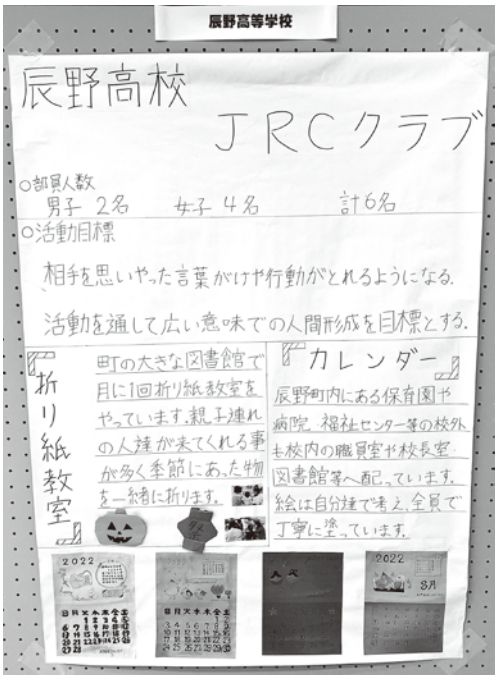
視覚障がいにも色々な種類があり、全盲のほかにも光覚障害、視野障害などがあることが分かりました。小林先生は「視覚に障害を持つ人は、街中で声をかけてもらえたら嬉しい」と話していたので、白杖を持っている人を見かけたら、積極的に声をかけたいと思いました。また、道などを誘導する際は、必ず支援をする人が前を歩かなければいけないことも学びました。支援者の肘や肩を持ってもらい、支援者が先を歩くことで、肘の上下で段差があることが伝わるそうです。

分科会では、車いすの操作を学んだあとに、実際に車いすに乗ってイオンモール松本でお買い物をする体験をしました。

道路やお店の中で乗ってみると、ちょっとした段差でもけっこう揺れて怖かったです。また、車いすに乗ると目線が低くなり、商品が探しにくいことが分かりました。すれ違うお客さんも車いすは視界に入りづらいようで、何度もぶつかってしまいました。

車いすを補助する立場になるときには、「ケガをしないように手は体の内側に入れておいてね」など声のかけ方を教えてもらいました。実際に言われてみると、自分を大切にしてもらっているようで、うれしくなりました。

日頃の活動を
模造紙発表しました！



今回参加してみて、私たちが普段行っている、辰野町の公共施設に手作りのカレンダーをお配りする活動は、辰野高校オリジナルであることが分かりました。

今の活動に誇りを持ち、これからも大切に続けていきたいと思います。

（文責：JRC クラブ２年　小口、笠木）

お知らせ掲示板

お問い合わせ・お申し込みは

辰野町ボランティアセンター
〒399-0426 長野県上伊那郡辰野町宮木城前 2674-1
TEL（0266）41-5558　FAX　41-3922
平日午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分
e-メール volunteer@tatsunomachi.jp

ご意見・ご感想をお寄せください

年末年始休業のお知らせ

辰野町ボランティアセンターと世代間交流センター茶の間は 12 月29日（木）～1 月3日（火）まで閉館となります。

凍結防止の水抜きをする都合上、期間中のセンターの使用はご遠慮下さい。

第5回フードドライブ実施のお知らせ

辰野ライオンズクラブ主催でフードドライブを実施します。家で眠っている保存食をご寄付下さい。詳しくは回覧チラシをご覧ください。

◆受付日時
　12 月 12 日(月)
　　～12 月 16 日(金)
　8 時 30 分～17 時 15 分

◆受付・問い合わせ先
　辰野町ボランティアセンター

第2回手芸材料バザー開催のお知らせ

ボランティアセンターに寄せられた着物、帯、生地、毛糸、編み棒など手芸材料のバザーを行います。

前回より品数は少ないですが、掘り出し物を探しにお出掛け下さい。

◆開催日時：12 月 20 日（火）
　　　　　13 時～15 時
◆会場：辰野町ボランティアセンター
◆規定袋 1 袋に詰め放題 100 円で、収益は社会福祉協議会の善意銀行に寄付します。

第36回上伊那ブロックボランティア交流研究集会開催のお知らせ

今回はオンラインでの開催となります。

◆開催日時：令和 5 年 1 月 21 日
　　　　　13 時 30 分～15 時
◆会場：辰野町ボランティアセンター
◆内容　講演会「エアリハで笑顔
　　～笑顔が健康への秘訣～」
　講師　日向亭　葵　氏
（お笑い理学療法士　おしゃべりテーションの会　代表）
◆参加希望の方は、12 月 26 日(月)までにボランティアセンターへお申込み下さい。

ボランティア情報紙"福寿草"をご希望の方は辰野町ボランティアセンターにありますのでお気軽にお出かけください。

辰野町ほたるの里
世代間交流センター

茶の間
通信97

TEL/ 0266-41-2180
FAX/ 0266-41-2187
月～土・9:00～20:00

＼☆今年も残り1カ月☆／

12月の予定

●茶の間ギャラリー
12月5日(月)～1月6日(金)
いいまちたつの知らせ隊
「辰野町無形民俗文化財 御騎馬写真展」

七年に一度の神事、御柱祭で法性神社に奉納される平出の騎馬行列。長きにわたり受け継がれてきた騎馬行列ですが、今年の御柱祭ではコロナ禍の影響もあり、勇壮な御騎馬を観ることが出来ませんでした。今回は 2016 年に行われた様子を収めた写真を展示していただきます！

●ぬり絵サロン	**12月 2日(金)**	**10:00～11:30**
●オレンジカフェ	**12月14日(水)**	**10:00～12:00**
●折り紙サロン	**12月16日(金)**	**10:00～11:30**

※上記の予定は新型コロナウイルス感染症対策等により変更・中止になる場合がありますので、ご了承ください。

つぶやき

役所を定年退職してから早10年…

在職中から多くの仲間と交流を深めていました。なかでも同年の者同士の「四季の会」は絆は固く交流を続けています。年四回「春夏秋冬」開催と決め四季の会と命名しました。若かりし頃は、海外旅行なども楽しみましたが、最近では近場で懇親会、県内で一泊が精いっぱいとなってしまいました。ここ三年程はコロナ禍で思うように開催出来ませんが、年二回になったり、三回になったりしながらも続いています。

話題はワクチンの回数、病名と共に薬の名前などになってしまい、黒々としていた髪は白く、薄く減り、その代わり皺は回を重ねるごとに増えました。開催の度に撮影している記念写真にはありのままに記録されています。やっと全員登録できたグループＬＩＮＥで次回のお知らせが来るのを楽しみにしています。

松井夕起子

次回のつぶやきは平泉靖子さんです。